

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



# はむらの 教育



羽村市  
自然休暇村



市内中学校では、毎年1年生が羽村市自然休暇村に宿泊し、スキー教室を行っています。

大自然に囲まれた高原でスキーを通して、技術向上の喜びや努力することの大切さを学び、宿泊を伴う集団生活の中で友情を深めています。

No.60

平成29年(2017)  
3月1日発行

紹介します!小中一貫教育の取組み つなごう∞育てよう∞いっしょに

中学校は、2学期制の良さを活かした

『新たな3学期制』へ移行します

(平成30年4月から)

羽村市におけるこれからの学期制についてお知らせします



市では、平成30年度から、中学校を『新たな3学期制』として、移行します。

そして、羽村市におけるこれからの学期制について、基本方針をまとめ、よりよい羽村の教育をつくっていきます。

※小学校は、今までどおり2学期制を継続します。

『新たな3学期制』とは

長期休業期間は学期の区切りではなく、常に学習は続くという考え方のもと、左記①②に示す良さを活かし、きめ細かな指導と評価により、生徒自身に学習の目標をもたせ、その成長を促していきます。

- ①長期休業期間を家庭や地域等における学習期間として活用する2学期制の良さ
- ②長期休業日ごとに成績が出る3学期制の良さ

2学期制検証の経緯について

市では、平成16年度から全小中学校において2学期制を導入しました。その間、各学校の創意工夫のもと、2学期制を活かした様々な取組が行われてきました。

そして、平成27年7月から翌年3月までの間、2学期制検証委員会(保護者代表などを含む)が、2学期制について子どもたちや保護者などへのアンケートなどを参考に検討を行い、提言にまとめました。

提言では、小学校は2学期制を継続、中学校は『新たな3学期制』へ移行が示されました。

教育委員会では、提言について学校からの意見を聴取しながら、「中学校は、平成30年4月から『新たな3学期制』へ移行し、小学校は2学期制を継続すること」を決定しました。

「これからの学期制」の基本方針

子どもたちのよりよい学びを支えていくために

【学習の連続性の継続】

長期休業期間中であっても、常に学習は続くという考え方は2学期制により導入されました。このことにより、長期休業期間に対する意識が変わり、様々な特色ある教育活動を各校が創意工夫して行うことができました。この成果を3学期制でも継承していきます。

【発達段階に応じた評価期間】

小中一貫教育9年間の中で、児童・生徒の発達段階に応じた評価期間を設定し、児童・生徒をきめ細かく指導・評価し、その成長を見取っていきます。小学校においては、個性の形成期として捉え、あいさつなどの生活指導、勉強への意欲を養う期間として、2学期制の長い評価スパンの中できめ細かな指導・評価により、じっくりと育成していきます。中学校においては、小学校で育成された土台をもとに、個性の発展期として捉え、3学期制の短い評価スパンの中での指導・評価により、自分の力を振り返り、自分の課題を見つけ、学習へフィードバックさせることにより、生徒の成長へとつなげていきます。

※平成29年度を準備期間として、小中学校と教育委員会が連携して移行準備を進めていきます。

【問合せ】 学校教育課指導係 (内線376)



## 小学校特別支援教室

### 本格的実施の取組み

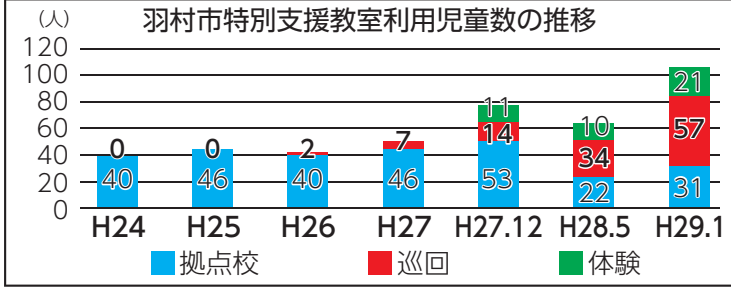
羽村市では、平成24年度から特別支援教室巡回指導を  
 試行し、平成26年度に、すべての小学校（7校）に特別  
 支援教室を設置しました。

平成28年度からは、本格実施として週に2〜3日の巡  
 回指導教員による巡回指導（個別指導・小集団による指  
 導等）を開始しました。

平成28年度の巡回

拠点校	在籍校(巡回校)・巡回指導教員	指導日(週)
羽村東小学校	羽村西小学校・2人 小作台小学校・2人 武蔵野小学校・1人	2〜3日
松林小学校	富士見小学校・2人 栄小学校・2人 武蔵野小学校・1人	2〜3日

羽村市特別支援教室利用児童数の推移



指導を受ける児童数が増加しています。適時適切な支援  
 により適応状況の改善を図っています。

「子どもたちの学びをサポート  
 している「特別支援教室専門  
 員」を紹介します

羽村市では、特別支援教育に多くの  
 支援者が関わり、子どもたちの学びを  
 支えています。

### 特別支援教室専門員

特別支援教室の円滑な運営のために  
 必要な業務を行う職員です。

小学校全7校に配置しています。

特別支援教室における、指導の時間  
 割の調整、子どもの支援に関わる教員  
 たちとの連絡・調整や情報共有、児童  
 の指導補助や教材の作成、指導などの  
 記録の作成等を行っています。

また、巡回指導教員や学校の教員と  
 の連携による子どもたちの指導を行  
 い、巡回指導日には、子どもの支援に  
 関わる者が集まり、情報交換、共通理  
 解を図って指導を行っています。



▲巡回指導教員と専門員の情報共有・打合せの様子

特別支援教室専門員から  
 教室の環境整備や児童  
 に合った声掛けや支援を  
 心がけて、対応していま  
 す。ソーシャルスキルの  
 指導を受けていた子ども  
 が、自分から友達に話し  
 かけている姿を見た時に  
 嬉しくなりました。



▲在籍校の管理職、巡回指導教員等を含  
 めた情報共有・打合せの様子

巡回指導教員から  
 巡回指導校での指  
 導では、巡回日にな  
 いときの子どもの様  
 子も専門員の記録  
 や、専門員がパイプ  
 役となる情報交換に  
 より知ることが出来  
 るので、指導がつま  
 りやすくなりました。

### 4月から「特別支援教室」の名称が「〇〇小学校はたき教室」 に変わります

名称だけでなく、これまでの個別指導に加え、少人数（小集団）でのコミュニケーショ  
 ンの活動などを更に充実させ、より学級での適応を目指した指導を行います。



【問合せ】 教育支援課（内線373）

# 平成28年度の学力調査（国・都）の結果をお知らせします

## ■平成28年度全国学力・学習状況調査結果概要

【対象：小6・中3】 (平均正答率)(%)

学校	教科	羽村市	東京都	全国
小学校	国語A	69.6	73.8	72.9
	国語B	54.2	59.8	57.8
	算数A	74.8	79.4	77.6
	算数B	43.9	49.8	47.2
中学校	国語A	75.8	76.9	75.6
	国語B	67.7	68.6	66.5
	数学A	63.1	63.5	62.2
	数学B	44.1	45.6	44.1

## ■平成28年度東京都調査結果概要

【対象：小5・中2】 (平均正答率)(%)

学校	教科	羽村市	東京都
小学校	国語	67.8	73.8
	社会	67.3	72.4
	算数	57.3	62.5
	理科	57.7	62.7
中学校	国語	68.9	71.1
	社会	53.9	57.8
	数学	52.6	56.7
	理科	50.2	55.2
	英語	53.2	55.6

羽村市では、小学校は、全国や東京都と比較すると平均正答率を下回る結果となっています。中学校では、全国の平均正答率を上回る教科もあり、小学校から中学校にかけて、着実に力を伸ばしていることがうかがえ、この傾向は近年継続しています。

これまでの取組みを活かしながら、基礎・基本の確実な定着や思考力、判断力、表現力等を高めるための授業改善、研修の充実を進めます。

**今後も学力のステップアップに取り組んでいきます**

## ■平成28年度全国学力・学習状況調査『生活習慣や学習環境に関する調査結果』（一部）

【対象：小6・中3】 (%)

調査項目	学校	羽村市	東京都	全国
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	小学校	56.7	62.8	62.2
	中学校	48.1	48.2	48.4
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小学校	63.1	67.8	68.3
	中学校	67.6	64.3	64.8
前年度までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	小学校	90.4	88.7	87.9
	中学校	78.4	70.1	76.8
月～金曜日の携帯電話やスマートフォンでの通話やメール、インターネット時間が1日3時間以上	小学校	5.7	6.0	5.8
	中学校	16.1	18.2	16.6

家庭を中心とした学習について、小学生の割合が全国、東京都を下回っている傾向にあります。予習・復習の他に計画的に家庭学習の習慣を身に付けていくことはとても重要です。

学校では、これから求められていく学習方法や学び方について、積極的に取り組み始めていることが表れています。携帯電話やスマートフォンの使用時間は、全国や東京都の平均を下回りました。

今後も家庭、学校、地域で連携しながら、子どもたちの「生きる力」を育てていきましょう。

【問合せ】学校教育課指導係（内線371）

## 学校給食費の 口座振替日の変更について

平成29年3月の口座振替日は、左記のとおり変更となります。

■変更前 平成29年3月27日(月)

←  
■変更後 平成29年3月6日(月)

◆これからは？

毎年3月の口座振替日は、25日でしたが、5日に変更となります。

※ただし、5日が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日となります。

※各月によって口座振替日は異なります。詳しくは、問い合わせてください。

給食費の年度内納付に向けた取り組みとして行いますので、ご協力をお願いします。



【問合せ】学校教育課学務係

(内線356)



# 羽村市教育研究会音楽部が受賞

## 平成28年度東京都教育委員会 職員表彰

羽村市立小中学校の音楽科教員が指導力の向上を目的に組織する羽村市教育研究会音楽部は、小中一貫教育の推進の取組みを通じた音楽教育が評価され、平成29年2月9日、東京都教育委員会より、団体・グループ部門で表彰されました。

小学校金管バンドや中学校吹奏楽部の活動を通じ、器楽指導はもとより、情操教育、調和や規律、協調性を重んじた指導を行い、お互いを思いやる心を育み、健全で自立心のある児童・生徒の育成に多年にわたって寄与してきたことが評価されたものです。

## 羽村市教育研究会



【問合せ】

学校教育課教職員係(内線374)

▼小学校校庭での音楽コンサートによる交流



# 第19回羽村市地域教育シンポジウムを開催しました!

一つのテーマについて小学生・中学生・大人が意見交換する地域教育シンポジウムを1月21日(土)に生涯学習センターゆとろぎで開催し、201人(子ども69人・大人132人)の参加がありました。

今回は「考えてみよう!みんなの個性! ~自分を表現できていますか? ~」をテーマに、大人と子どもが素直な意見を交換し合いました。

シンポジウムは二部構成で、第一部では羽村第一中学校と羽村第二中学校の演劇部合同によるテーマに沿った寸劇を鑑賞し、テーマに対する理解を深めました。第二部では小学生と中学生に分かれてグループ討議を行った後、全体会として、各グループの意見を発表し、参加者全員で「個性」について自由に話し合いました。

参加した児童・生徒の皆さんには、シンポジウムで話し合ったことや参加して感じたことについて、改めて家族や友達と話し合い、更に理解を深め、自分を表現することに活かしてもらいたいと思います。

## 【参加した児童・生徒の感想】

- ◇今まで考えたことのなかったテーマについて、いろいろな人の意見を聞くことができて良かった。
- ◇考えの幅が広がって良かった。
- ◇小学生から大人まで、個性について様々な意見が出て、良い討議だった。
- ◇様々な個性があって良いなと思った。

【問合せ】

生涯学習総務課生涯学習推進係(内線366)



▲シンポジウムでの寸劇の様子

## 企画展「ひな人形展」開催中!

ひな祭りに合わせて、羽村市内や近隣の皆さんから寄贈いただいた『ひな人形』を郷土博物館で展示しています。

郷土博物館では、こうしたひな人形を約300点以上所蔵しており、その中から御殿雛や内裏雛、段飾り、立ち雛など、江戸時代の終わり頃から平成にかけてのひな人形52点を展示しています。

3月12日(日)までの開催です。

ぜひお越しください。

**■時間** 午前9時～午後5時

※旧下田家住宅は、午前9時～午後4時

**■休館日** 月曜日

**■会場** 郷土博物館企画展コーナー・オリエンテーションホール・学習室・旧下田家住宅

**■入館料** 無料



▲展示の様子

**【問合せ】**

郷土博物館 558-2561

## 読書手帳の表彰を行います!

子ども読書週間(4月23日～5月12日)に合わせて、読書手帳の表彰を行います。羽村市図書館の「読書手帳」「よむちよ」を使っている方で、本をたくさん読んでいる方を、羽村市教育委員会が表彰します。

基準の冊数を達成した方は、羽村市図書館本館のカウンターまでお越しください。後日、表彰式の案内をします。

**■日** 時：平成29年5月13日(土)午前10時10分から

**■冊数**：中学生以下は500冊読書手帳5冊

高校生以上は1000冊

(読書手帳10冊)

**■対象書籍**：羽村市図書館から借りた資料、学校図書館の資料、家にある本のうち本人の

「読書手帳」、「よむちよ」にシールを貼ったもの、または書いたもの。(雑誌・漫画・視聴覚資料は除く)

**■募集期間**：平成29年3月1日(水)～3月31日(金)



▲前回表彰式の様子

**【問合せ】**

図書館 554-2280

## 「絆団入はむら総合型スポーツクラブはむすぽ

市では、体力・健康の促進に向けた様々な取り組みを行っています。

平成20年に設立された、はむら総合型スポーツクラブ「はむすぽ」は、地域住民が主体となつて運営されているスポーツクラブです。スポーツ・レクリエーション活動を通して、誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」楽しく身体を動かし、健康で豊かな「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」を目指しています。

平成29年度「はむすぽ」の主なプログラムをご紹介しますので、ぜひご参加ください。

### 【主なプログラム】

- 1 ポケモン体操クラブ
- 2 ジュニアアダダンス
- 3 西多摩ジュニア体操クラブ
- 4 できるスポーツできすぽ!
- 5 ハワイアンフラ
- 6 夜のスイミング教室(ヨルスイ)
- 7 古武道健康教室
- 8 スポーツ吹矢

※詳しくは「はむすぽ」の公式サイトをご覧ください。

**【問合せ】**

スポーツセンター 555-0033



## 動物公園内登校『見守りボランティア』

松林小学校では、平成22年9月から児童が安全に楽しく学校に登校できるよう、週2回(火・金曜日)、羽村市動物公園の園内を通り学校に登校しています。

また、児童が動物に夢中になって遅刻しないよう、安全管理を含め、地域住民(UR羽村団地自治会長寿会など)の皆さんがボランティアで見守り活動を行っています。



▲登校の様子

見守りボランティアの皆さん、いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

【問合せ】生涯学習総務課総務係(内線353)

## 教育随想

### 「表現することの大切さを見直してみる」

平成三十二年度から小学校、三十三年度から中学校の学習指導要領が改訂されます。今回の改訂では「知っていること、できることをどう使うか」などの資質・能力を育むための具体的な方策である、アクティブラーニングの視点を重視する方針だとききます。

ところで最近私が気になっていることの一つに、子どもとおとなの表現力があります。

若い人たちが、良いことも悪いことも「やばい」で表現する語彙の少なさでは、メールやSNSで気持ちが伝わらず誤解を生むことも、仕方ないと思います。また、おとなにも、他者が読むことへの配慮に欠けるような誤字や解かりにくい文章を書く人がいます。

人間は何かを考える時に、声に出さなくても言葉を使います。語彙が少なく多角的な視点を持たないと、考えや感情を表現するのは難しいと思います。

しかしアクティブラーニングを重視した授業になれば、自分の考えや思いを表現することが大切になってきます。また人とのつながりが希薄になっていくという現代ですが、他者と解かり合うために必要なことも、思いを言葉で表現することでしょう。

これらのことを考えると今後、表現することが増々重要になってくることは、間違いないと思います。

いろいろな場面で私なりのやり方で、表現力向上のために力を尽くしたいと思っています。



教育委員会委員

塩田 真紀子

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

# 羽村市体育協会

TEL 5551-1698

## 第48回羽村市総合体育大会総合開会式

## 第70回都民体育大会羽村市結団式

【日時】 4月15日(土)午後7時～

【場所】 スポーツセンター第1ホール

【内容】 優勝杯返還、選手宣誓、デモンストラーションなど

※見学は自由です(上履きを持参してください)。

羽村市総合体育大会は、陸上や柔道、ソフトテニスなど24種目の競技で羽村市のナンバー1を競い合います。

都民体育大会では、羽村市の代表が、他の区市町村の代表と東京都ナンバー1を目指して競い合います。



# 羽村市文化協会

TEL 0901-551010191

日頃より文化協会活動にご協力ご支援ありがとうございます。昨年文化祭特別企画「水の女神アルマ」玉川上水誕生の物語は出演者と会場一杯のお客様が一体となり、新しい羽村の芸術・文化の夜明けを見て未だ余韻を感じております。

さて、平成28年度の文化協会の活動を振り返りますと第11回美術・工芸展を特別企画「はむらを撮る」を含め4月から7月に6期に亘り開催、多くの市民の方に鑑賞、感嘆頂きました。ゆとろぎサロンコンサートは5回行い、男声合唱、ギター、ウクレレ、フォルクローレ、詩吟、箏・尺八の演奏と書道吟に多くの市民の方が身近に感動と安らぎを得ていただきました。

また8月に北杜市へ交流・研修旅行を行い、文化祭には北杜市文化協会の役員が視察に來られ交流を図る事ができました。

2月19日の「第12回はむら音楽祭(洋楽)」では、19団体200人が出演し、音楽の響きある羽村を象徴するように有終の美を飾る事ができました。

平成29年度も引き続き羽村の芸術・文化振興と循環型生涯学習の推進を図ってまいりたいと思います。

●第48回羽村市文化祭説明会 5月11日(木)午後7時～予定

ゆとろぎ小ホール

※詳細は「広報はむら」5月1日号をご覧ください。

●羽村市文化協会総会 5月27日(土)午後2時～

ゆとろぎ小ホール

●第12回美術工芸展 5月～6月に5期開催

※詳細はポスター、チラシなどをご覧ください。

## INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	